

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1190400398		
法人名	特定非営利法人福祉ネットワーク・エヌツー		
事業所名	グループホームふるさとの家川越		
所在地	埼玉県川越市古谷上2706-1		
自己評価作成日	令和2年3月1日	評価結果市町村受理日	令和2年5月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php?action_kouh_you_detail_022_kani
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 埼玉県介護支援専門員協会
所在地	埼玉県さいたま市浦和区仲町2-13-8 ほまれ会館3階
訪問調査日	令和2年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

目の前に広がる豊かな自然と庭では畑での季節の野菜作りや草花など入居様と共に育てています。地域行事への参加や慰問ボランティアの積極的な受け入れを行い地域に根ざした施設運営を心がけております。入居者の方々の思いを尊重するとともに親しみのある家庭的でほっとするような安心感のある施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

のどかな風景の中に住宅が点在し、その一角に日本建築の大きな邸宅が立っている。その建物がふるさとの家である。施設の中で生活する利用者は、自宅にいるような雰囲気、まるで家族の様に会話しお互いを思いやりながら、のんびりと過ごしておられるのが此処の施設の特徴である。職員も一丸となり日々検診を重ねより良い支援に向け努力し、昨年の課題であった「快適な入浴・災害訓練」の取り組みが確実になされている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の入職時には、理念を説明し、毎朝朝礼にて、全員で唱和している	職員は、地域に合った独自の理念について意見を出して話し合い、皆で作上げた理念を毎朝朝礼で唱和し共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地元自治会の賛助会員として、年間行事に、積極的に参加して、交流を深めている。	地域の行事によく参加している。地域包括と連携を取りオレンジカフェに参加し交流を深めている。毎日散歩に出掛けて、出来るだけ多くの地域の人達と関わりを持つようにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くの中学校の生徒の体験学習受け入れなど、その人に合わせた援助をすれば認知症の方も普通に生活出来るということを発信している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括、民生委員、家族の皆様方と話し合いそこでの意見をサービス向上に生かしている。	2ヶ月に1回運営推進会議を定期的開催している。地域包括、民生委員、青少年を育てる古谷地区会議の会長、家族が参加し開催している。	会議の内容について、報告、意見を聞くだけに留まらず、イベントや専門家を招き研修会の開催を提案します。会議録について、内容の記入の仕方、内容の整合性などを明確に分かり易く記入されることを希望します。さらにヒヤリハットの内容も作成し添付を検討ください。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	多種多様に、市の担当者と連絡を取り合っている必要に応じて利用者の様子をつたえている。	施設長は、分からない事、相談事、報告などに頻りに市役所の窓口を訪れて、相談をしている。積極的に仕事に取り組んでいるのが伺える。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者がうける身体的精神的弊害について理解し身体拘束のないケアを実践してしている外部からの不法侵入をさけるため施錠しているが、防犯上鍵をかけていることを説明し同意を得ている	身体拘束防止のテキスト(マニュアル)を基に、年2回全体会議で研修を開き職員に周知している。新任職員には、業務の中で身体拘束防止について、スピーチロックも含め教育している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	人生の先輩として言葉遣いなど職員全員気を付けるとともに定期的に外部研修に職員を参加させその情報を共有している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の利用を開始した利用者がいれば関係者と相談して職員に対して説明する機会を設ける。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に明示されており、契約時に家族、本人に説明し同意をえている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に内部及び外部への相談窓口を記載していると共に面会時や催事の際になるべく各家族と話をして意見を吸い上げ可能な限り運営に反映するよう努力しています。	家族が面会に見えた時に、職員は出来るだけ家族の意見・意向を聞き情報収集をおこない、自立度の高い利用者には、意見を聞き運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミイティングでは、全参加者に一言でも発言できる機会を設けています。また外出や行事等は、職員に主体性を持って企画、立案を行っています。	理事長・施設長・職員とのコミュニケーションは良好で、どんな事でも相談をするとすぐに答えを出し取り入れて、朝礼で職員に説明をして指示を出し反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々に利用者様の担当を持たせ責任感や、やりがいを持ってもらうように工夫するとともに希望休を踏まえてシフトを作成するとう融通性を持って就業環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種団体の研修への参加で得た知識、情報を他の職員に伝達している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年間を通じての交流はさほど多いとは言えないが行事を通じて職員同士の交流をはかっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が遠慮せず、心配ごとを言って頂ける信頼と関係の雰囲気作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	まずお話を伺い安心していただけるような、誠実な態度を心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	安楽に生活していかれるために、必要な事の順序を考え相談するようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場なので、共にという雰囲気があるように全体のバランスがよくなるようにと考えています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にして頂ける事は、なるべく関わっていただきご本人とご家族の繋がりを大切にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域やお知り合いと触れ合う機会を希望があれば進んで支援しています。	初詣には、なじみの神社に行き、おでん、甘酒などを親しい友人と食べて交流している。家族の希望により利用者を毎月自宅まで送迎し仏壇にお参りする支援を行なっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の中に入り話しかけることで孤立をなくし穏やかな関わりが出来るように気遣っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームとしては、利用者の終の住家として考えていることを家族に説明している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人に直接お聞きしたい会話は様子等で汲み取るように努力しています。	利用者との会話をしただけ話を聞く様に心がけている。新入職員には経験の豊富な職員から業務の中でケアについて勉強し学ぼう指導している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人に直接お聞きしたい会話は様子等で汲み取るように努力しています。直接お聞きしたり皆様との会話のなかから汲み取るようにしています。またご家族にもお聞きすねようにはしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご家族や関わりの合った方々に接する機会があればおききしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段の状況、状態をスタッフ全員が共有し話し合って計画に反映させるようにしています。またご家族に話を聞いたり主治医の指導も取り入れています。	アセスメントを行ない、介護計画書作成について、家族・本人、職員からの情報や意見を反映し計画書を作成している	アセスメントでは、計画書作成に必要な23項目や認知症状のチェック項目が不足しているため様式の見直を確実に実施されることを期待します。また、地域の社会資源を利用し地域包括ケアに向けた支援を取り入れた計画書作成が強く望まれます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段からスタッフ各自が様子観察しその都度話合っています。また、特変があり計画にそぐわなくなった場合は見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望やご家族の希望等出来るかぎり対応するよう努力しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアをお願いしたり地域の行事に参加したりしています。また散歩等を通じて季節季節の様子を楽しんで頂いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療希望者には訪問歯科があり、またかかりつけ医のある方には、状況に応じて受診の送迎、同行を行っています。	掛かりつけ医への受診希望者には、引き続き受診を継続し通院の介助を行なっている。	医療との連携について、しっかりとした体制を検討中であるとのこと、利用者の命、職員が安心してケアできる体制を築かれることを期待します。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間365日緊急時対応できるように特化した訪問診療との関係づくりを行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはスタッフが同行し現状説明をしています。またお見舞いにいき状態を把握したりしています。退院時には、同行させていただき、出来るかぎり情報を得るようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族や医師と話し合い家族の思いや方向性を把握しスタッフが統一したケアを行っています。	入居時に、家族には看取りは行なわない事。施設で出来る事などを家族に説明、話し合いが出来ている。職員には研修を行ない、今後は医療と24時間連携できる体制を取ることを説明している。	看護師の居ない中での職員の不安は大きい。今後は24時間連携が取れる体制を構築し近日中に体制が整うとの事。地域医療と連携し利用者が安心して過ごせるよう希望します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は職員の連携により円滑に応急手当が出来るように、随時実践を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練等通し身に付けるよう努力しています。また地域との協力体制が整うように関係作りをしています。	市役所と連携して、意見やアドバイスを得ながら地域との協力が得られる関係づくりに努力している。災害時の避難訓練も行い身に着ける様努力している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況やご本人を観察し、自尊心やプライバシーを害しないよう他の利用者様から害されないよう努めています。	自尊心やプライバシーを損ねない様言葉使いに気を付けて支援している。利用者一人一人のペースや思いを尊重しケアしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人に聞いたり選んだり出来るように、時には提案したり決められない場合でも話しかけたりしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状況や希望があれば全体として大きな支障が出ない範囲でその人らしい暮らしを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みや希望や清潔を考え服や髪などのおしゃれが出来るように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみの多くを占める食事を外食や日々の食事で美味しく残さず食べられるように、配慮し出来ることをお手伝いしていただいております。	食事の手伝いは、一人の利用者が独占をせず、出来る利用者が分担して積極的に参加し協力し合ってお互いの力を発揮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分補給量を介護記録に記入していただきます食事が進まない場合にはエンシニアなどで対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ホーム内では、食後義歯の洗浄指導をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来るかぎりトイレで排せつしていただけるよう観察タイミングをはかり自力での排せつをなるべく維持できるように支援しています。	排泄表を確認しながら、出来る限りトイレでの排泄に向け支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や水分補給などっていただき自然排せつに取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は週2回行っています。時間等の制約もあり日程、時間等決めて入浴していただいております。	入浴は基本的に週2回行っている。回数については要望があれば、職員で話し合い対応しているが、今の所希望者はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や習慣や状況に応じて身体を休めたり安眠できるようにお昼寝、話をきくこと身体を安楽にし心要な時は薬の服用も考えます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	体調を把握し定時や臨時の服薬を支援し薬の内容や副作用又は変更について理解しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみや好みを知り全体で時個々に時間を取り気持ちに張りのある生活を送れるようにしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば一緒に外出しホームで難しい時には、ご家族にお話し外出が叶う様橋渡ししています。	毎日神社や土手などに散歩に出掛けている。また、家族さんと外出される時には食事や買い物などの協力をお願いしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理、使用出来る方には使用の見守り出来ない方には安心していただくようお願いしており、必要な時には使えることをお話しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎ橋渡し手紙の投函まで支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の生活をよりよく過ごされるように移動、導線を工夫し内部仕上げも一般住宅並にしています。	大きな窓の外には、遠くに竹林、田園風景が広がり、色々な花が咲いている。そんな外を眺めながら利用者同士がおしゃべりをして楽しんでいる。庭には花を植えて気分が和む。居心地良く過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間などに好みのテーブル椅子など配置し自由に居場所確保できるように専念しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要なもの、家にある慣れた物等で居室でも心地よく過ごしていただけるように配慮しています。	使い慣れた家具を居室に置き、家族の写真や飾り物を置き自宅で過ごしている様である。くつろげる部屋となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を頭に置き押しつけや、過干渉、もつ力を奪うことがないように考えています。		

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 4 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	※	職員各々が評価する作業にかかわる時間が短く意識も希薄に感じられる。運営推進会議を通じて、自己評価やミーティング・目標設定の機会を多くとることで意識付けが必要。	各利用者の援助計画に沿った介護の提供を目指す、職員は個人の件所計画を把握しておく、その時の体調の変化に適した、援助計画の作成とその実施	モニタリング・アセスメントの後、本人・家族・かかりつけ医・薬剤師・管理者・ケアマネジャー・担当職員等の意見が反映された、援助計画が作成できるように行程を見直す。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。